

作品名「散る桜」 积文・散る桜 残る桜も 散る桜（良寛禅師 辞世の句）
句に込められた想い…今どんなに華やかでも、散らない桜はない。一度だけの人生、毎日を精一杯楽しんで生きましよう。

2021年1月14日(木) - 2月27日(土)

KOREMADEの高木厚人展

ノーベル賞から大臣賞までの軌跡 From 1985 to 2018

[開館時間] 10:00 - 18:00

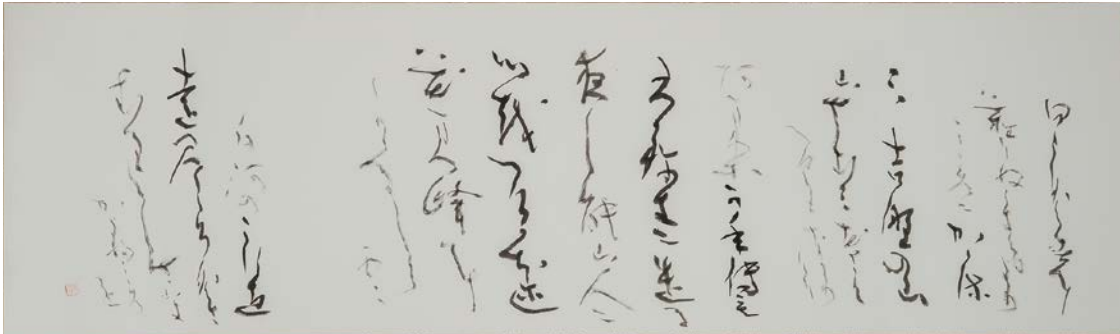
[休館日] 日曜日

[観覧料] 無料

[主催] 株式会社 平成建設

心のフィルターでみて表現する「かな書の世界」

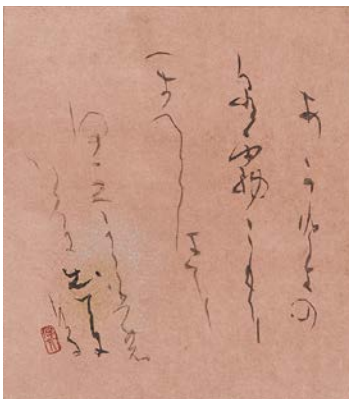
書家であり大東文化大学教授である高木厚人は、二十歳の頃、心臓外科医に……美術史家に……詩人に……と未来を描きながら予備校に通っていました。実家を離れ京都での大学生活を始めるにあたり、父親からの勧めで奈良の杉岡華邨すぎおか かせんの元に稽古に通うことになり、紆余曲折の後、かな書で立とうと決めたのは大学を卒業した28歳の時でした。その後は杉岡華邨から集字聖教序、蘭亭序、書譜等の漢字の基本と、高野切こうやぎれ、本阿弥切ほんあみぎれ、中務集等なかつかさしゅうのかなの基本、そして華邨の書法を学びます。専門学校、大学で教鞭をとりながら日展、読売書法展を中心に作品を発表してきました。本展では、杉岡華邨が主宰する臨池会に入会し初出品した作品「春霞」(28歳-臨池会ヌーベル賞)から「吉野山」(65歳-日展内閣総理大臣賞)までの高木厚人代表作を小品を交えて展示いたします。作品とは「心のフィルターを通して自身の鏡に映ったものを目の前の紙に再現し出したもの」、個性とは「心というフィルターそのもの」、日頃そう述べている高木厚人によるかな書の世界をお楽しみください。



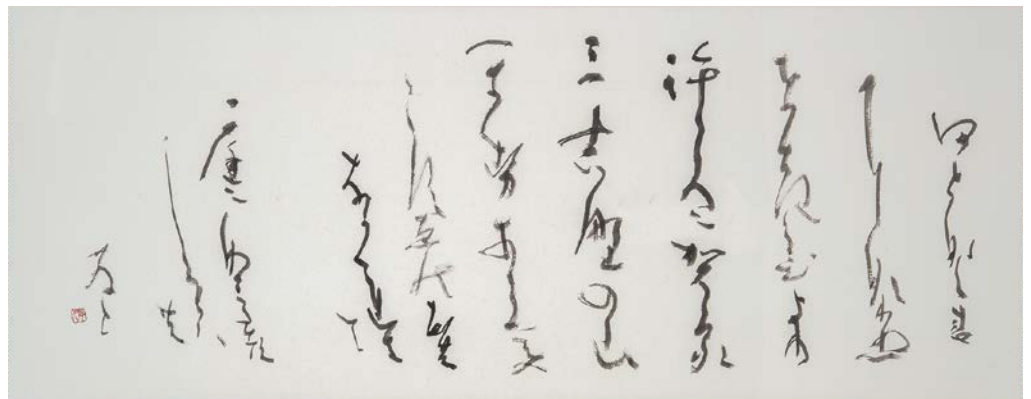
「吉野山」



「風の音」



「恋」



「春」



[作家略歴]

高木 厚人
TAKAGI ATSUHITO

- 1953年 千葉県船橋市に生まれる
- 1975年 杉岡華邨に師事
- 1982年 京都大学 文学部 哲学科 美学美術史学専攻 卒業
- 1984年 第16回 日展 初入選
- 1992年 第24回 日展 特選 受賞
- 1996年 第28回 日展 特選 受賞
- 2005年 第37回 日展 会員賞 受賞
- 2012年 現代書道20人展メンバーに選出
- 2018年 改組 新 第5回 日展 内閣総理大臣賞 受賞

公益社団法人 日展 会員
 公益社団法人 日本書芸院 副理事長
 千葉県美術会常任理事
 奈良市杉岡華邨書道美術館 館長
 大東文化大学 教授

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】 03-3426-1103

〒156-0053
 東京都世田谷区桜3-25-4
 開館時間 10:00~18:00
 観覧無料
 休館日:日曜

【電車】
 東急世田谷線 上町駅より
 徒歩10分
 【バス】
 渋谷駅バス停 3番乗り場
 「成城学園前駅西口」行
 渋24(東急バス/小田急バス)
 「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



【次回企画展のお知らせ】 ※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。
 2021年 3月6日(土)~4月10日(土) 『魅惑の陶磁展』

ご来館の皆様にご安心して展示を楽しんでいただけるよう、感染症対策に取り組んでまいります。
 詳しくはギャラリーサイトをご覧ください。